

三菱自動車工業株式会社

証券コード：7211

株主通信

2019年度上半期のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日



**MITSUBISHI
MOTORS**

Drive your Ambition

CEOからのごあいさつ



「Small but Beautiful」の
実現に向け、「選択と集中」による
健全な成長軌道を目指します。

取締役(代表執行役CEO)

加藤 隆雄

2019年度上半期は、世界的な政治・経済の不透明感の影響がグローバル自動車需要の低迷に繋がり、さらに想定を超える円高の進行が加わり、当社を取り巻く事業環境は一段と厳しさを増しました。このような中、投資の厳選や、更なるコスト削減を行ってまいりましたが、販売台数減少や為替影響を吸収するには至らず、結果前年同期比で大幅な減収・減益となりました。

当社は、「収益力強化」と「持続的成長」の両立を目指す2020年度からの次期中期経営計画へ繋げるため、引き続き様々なコスト削減努力に加え、販売地域の優先付けや主要車種の見直しにも取り組んでまいります。世界景気の先行き見通しが非常に困難な状況であることを考慮し、2019年度通期見通しを修正することを決定いたしました。一方で、配当につきましては、期初予定通り1株当たり年間20円(中間・期末各10円)を維持いたします。

当社は目指すべき企業像である「Small but Beautiful」の実現に向け、限られた経営資源を強みのある地域とモデル開発に集中的に振り向け、「収益力強化」に軸足を置いた戦略への修正を着実に進めてまいります。

決算概況

2019年度上半期の振り返り

2019年度上半期の売上高は前年同期比4%減の1兆1,280億円となり、営業利益は前年同期の569億円から102億円へと減少し、営業利益率は0.9%となりました。親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)は26億円となりました。

世界経済のモメンタムは年度計画策定時より悪化しており、主要自動車市場における需要の落ち込みが進んでいます。こうした中、当社はアセアンを中心に健闘し、2019年度上半期のグローバル販売台数(小売)は前年同期比で微減の592千台となりました。

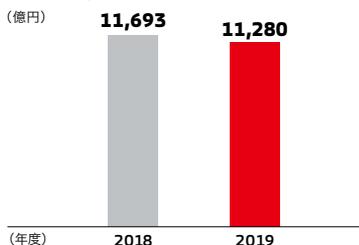
主力地域のアセアンのうち、タイ・フィリピンでの販売は概ね計画通りに推移し、またベトナムでは前年度に引き続き好調な販売となりました。一方インドネシアにおいては、景気伸び悩みの影響などによ

り想定より軟調に推移しました。結果、アセアン全体での販売台数はほぼ前年同期並みとなりました。

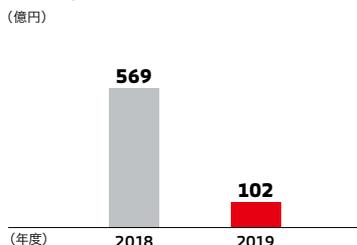
日本地域は、新型車効果が市場全体の伸びを上回る高い成長を実現しました。豪州・ニュージーランドに関しましては、景気減速の影響による全体需要の落ち込みや価格競争激化の影響により、前年同期比で販売台数が減少しました。

その他、中国においては新車投入効果、欧州においては戦略的拡販効果により、概ね前年同期並みの販売台数を確保しました。一方で北米に関しては、オートローン金利の低下により需要が支えられ、市場全体は前年同期並みを維持しましたが、当社が販売を展開しているセグメントの競争激化により、前年同期比で減少しました。

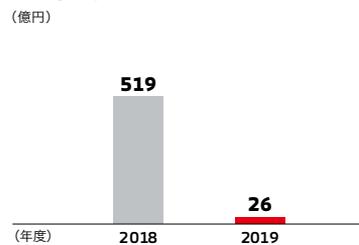
◆ 売上高(上半期)



◆ 営業利益(上半期)



◆ 当期純利益(上半期)



2019年度の見通し

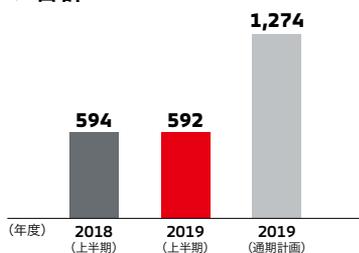
2019年度の通期業績見通しについては、グローバルでの景気減速懸念による自動車需要の落ち込みや為替の見直しを踏まえ、右記の通り修正いたしました。

自動車業界全体を取り巻くマクロ環境の厳しさは続く中、当社は主力地域であるアセアンをドライバーに、新通期見通しを達成すべく全力で取り組んでまいります。

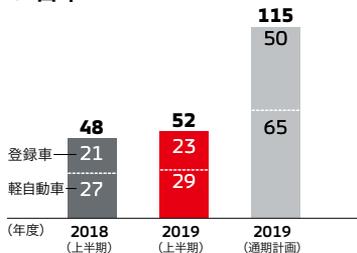
販売台数(小売)

(千台)

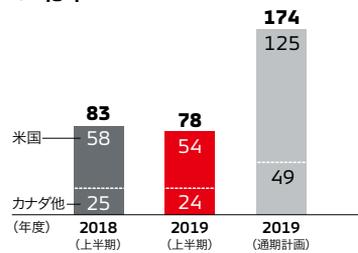
◆ 合計



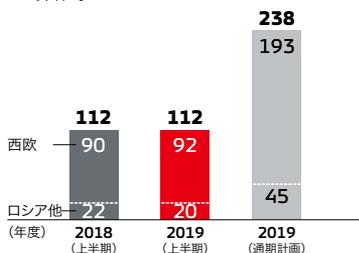
◆ 日本



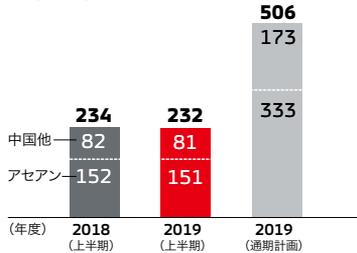
◆ 北米



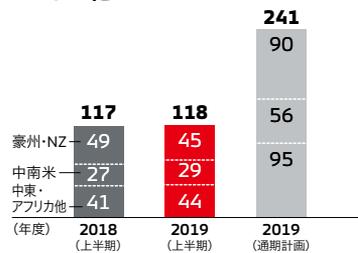
◆ 欧州



◆ アジア※



◆ その他



※ 中国の小売実績については、2019年度から小売台数の集計方法を変更しました。このため、2019年度に計上する小売台数については、2018年度以前に計上した台数が含まれている場合があります。

通期(4月～翌年3月)

(億円)	2018年度 (実績)	2019年度 (見通し)	期初見通し からの増減
売上高	25,146	24,500	-1,300
営業利益 (営業利益率)	1,118 (4.4%)	300 (1.2%)	-600
経常利益	1,199	200	-800
当期純利益	1,329	50	-600

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約・保証するものではありません。

Information

2019

4

プラグインハイブリッドEV『アウトランダーPHEV』のグローバル累計販売台数20万台を達成

2013年に日本で販売を開始し、これまで世界50カ国以上で販売されている『アウトランダーPHEV』は、世界で最も売れているプラグインハイブリッド車であり、また欧州では2015年から4年連続でプラグインハイブリッドカテゴリーの販売でトップ*となりました。

*JATO Dynamics Limited調べ



6



クロスオーバーSUV『エクリプス クロス』のクリーンディーゼルエンジン搭載車を発売

8速スポーツモードA/Tとの組み合わせにより低速から力強く滑らかな加速を実現させ、商品特長の一つである「四輪制御技術による安心して楽しめるドライブフィール」をより一層強化しました。

7

三菱商事株式会社とともにインドネシアのモビリティサービス大手GOJEK社に出資

重要市場である東南アジア地域におけるバリューチェーンの革新に取り組むべく、インドネシア発モビリティサービス大手GOJEK社(本社：インドネシア ジャカルタ)に出資し、今後3社で共同プロジェクトを協議するパートナーシップに関する覚書を締結しました。

8

新型『パジェロスポーツ』をタイで世界初披露

世界戦略車の一つであるミッドサイズSUVの新型『パジェロスポーツ』をタイより発売し、今後フィリピン、オーストラリアなど約90カ国に順次展開していく計画です。「Elevate your Journey」をモデルチェンジのキーワードとし、力強さを高めながら洗練させたエクステリア、先進的な機能装備と上質かつ快適なインテリアを実現しました。



災害時に電動車を迅速に提供できる体制構築に向けて全国の自治体と連携

災害発生時に当社製の電動車を被災自治体へ速やかに提供できる体制づくりを目的とした「DENDOコミュニティサポートプログラム」を推進していくことを決定しました。2022年度を目標に、全国の自治体と災害時協力協定を締結することを目指します。

2019

第46回東京モーターショー2019において バギータイプの電動SUVコンセプトカー『MI-TECH CONCEPT』 および軽コンセプトカー『SUPER HEIGHT K-WAGON CONCEPT』を世界初披露

『MI-TECH CONCEPT』は、軽量・小型化した新しいPHEVシステム、4モーター方式の電動4WDシステム、先進の運転支援技術と予防安全技術をスモールサイズのスUVに凝縮した、当社のブランドメッセージ“Drive your Ambition”を体現するコンセプトカーです。

『SUPER HEIGHT K-WAGON CONCEPT』は、「いろいろなところに行ってみたい、もっと遠くまで行ってみたい」というドライバーの気持ちに応える新世代のスーパーハイト軽ワゴンです。スーパーハイト軽ワゴンならではの広々とした居住空間を実現し、同カテゴリーに求められる性能と機能を盛り込みながら、三菱自動車らしいSUVテイストのデザインとしました。新世代軽自動車の第2弾に位置付け、本年度内の発売を計画しています。

10



2019年度株主様向けイベント実施のご報告

2019年9・10月、当社子会社であるパジェロ製造株式会社において株主様工場見学会を3日間実施し、多数のご応募の中から抽選で選ばれた236名の皆様にご参加いただきました。

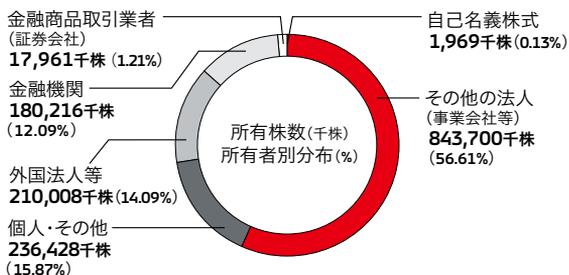
当日はパジェロ製造株式会社役員が工場概況などをご説明した後、プレス工場、溶組工場、組立工場などをご見学いただいたほか、社員食堂での昼食会など、普段はなかなかできない体験に皆様から大変ご好評をいただきました。

当社の事業や生産活動へのご理解を深めていただくため、今後もこのようなイベントを継続的に実施していく予定です。

株式情報 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,575,000,000株
発行済株式総数	1,490,282,496株
株主数	256,810名

所有者別株式分布状況 (2019年9月30日現在)



大株主 (2019年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日産自動車株式会社	506,620	34.03
三菱商事株式会社	298,012	20.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	38,904	2.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	31,395	2.10
三菱重工業株式会社	21,572	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	19,107	1.28
株式会社三菱UFJ銀行	14,877	0.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	14,827	0.99
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	13,769	0.92
JP MORGAN CHASE BANK 385632	11,473	0.77

(注) 上記の持株比率は、自己株式(1,969,401株)を控除して計算しております。

会社の概要 (2019年9月30日現在)

社名	三菱自動車工業株式会社
本社	〒108-8410 東京都港区芝浦三丁目1番21号 TEL.(大代表) 03-3456-1111
設立	1970年4月22日
従業員数	連結：31,755名 単独：14,655名
資本金	284,382百万円

取締役 (2019年9月30日現在)

取締役会長	益子修
取締役	加藤隆雄
取締役	白地浩三
社外取締役	宮永俊一
社外取締役	小林健
社外取締役	川口均
社外取締役	軽部博
社外取締役	江上節子
社外取締役	幸田真音
社外取締役	竹岡八重子
社外取締役	大庭四志次
社外取締役	佐々江賢一郎
社外取締役	園潔
社外取締役	坂本秀行
社外取締役	宮川美津子

執行役 (2019年9月30日現在)

代表執行役	益子修
代表執行役 CEO	加藤隆雄
代表執行役 COO	グプタアシュワニ
代表執行役 副社長 CFO	池谷光司
代表執行役 副社長	安藤剛史
執行役専務	稲田仁士
執行役専務	辻昇
執行役専務	長岡宏
執行役専務	服部行博
執行役専務	カルティエギョーム
執行役専務	矢田部陽一郎
執行役	岩本和明

株式手続きのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
その他の基準日	上記の他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 (公告掲載アドレス) https://www.mitsubishi-motors.com/jp/investors/stockinfo/koukoku.html
1単元の株式数	100株
証券コード	7211
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先・電話照会先	〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel: 0120-232-711(フリーダイヤル)

「配当金の口座受取制度」のご案内

配当金を銀行等の預金口座へ入金するお手続きをしていただきますと、配当金支払開始日に株主様のご指定の口座に振り込まれ、安全・確実に配当金をお受取いただくことができます。配当金を「配当金領取証」でお受取の株主様はこの機会にご検討ください。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。速やかにお取引の証券会社等へお届出ください。

〈上記手続き、その他各種お手続きご連絡先〉

1. 証券会社等の口座をご利用の場合→お取引の証券会社にお問い合わせください
2. 「特別口座」に記録されている場合→三菱UFJ信託銀行(Tel:0120-232-711)にお問い合わせください